

五輪 競技スタート

福島 ソフトボール 日本 VS 豪



発行所

山形新聞社

〒990-8550
山形市旅籠町2-5-12

総合案内 023(622)5271
読者センター 023(622)5666
(平日9時30分～17時30分)

(c)山形新聞社2021

2021年
7月21日
〈水曜日〉

電子
速報版

やましん e聞

特別号外

■やまがた
ニュースオンライン
yamagata-np.jp

■携帯・スマホ
yamagata-np.jp
/mobile/



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。

1年延期 復興アピール



△日本一オーストラリアへ1回、先頭打者の打球を一塁に送球する上野。内野安打となった
〓福島県営あづま球場



新型コロナウイルスの感染拡大で史上初の1年延期となった東京五輪は21日、福島市の福島県営あづま球場でソフトボールの日本が1次リーグでオーストラリアと対戦し、23日の開会式に先立って競技がスタートした。

◇ 依然として感染状況は改善せず、日本で57

年ぶりとなる夏のスポーツの祭典は、世論の強い逆風の中で始まった。

「復興五輪」を大会理念に掲げ、東日本大震災で大きな被害を受けた福島を、全競技を通じた「開幕戦」の舞台にした。感染防止策として球場内は無観客。日本は競技が実施された前回の2008年北京五輪以来13年ぶりの優勝を目指す。

大会組織委員会は「安全安心な形での開催」を訴え、徹底した水際対策や選手へ原則毎日の新型コロナ検査を義務化。海外関係者らに対しても厳しい行動管理を求めているが、感染拡大への国民の不安は根強い。

購読・試読のお申し込みは

フリーダイヤル 0120-81-8040